

大垣市読書活動推進計画第1回策定委員会会議録

1. 日 時 平成22年6月3日（木）午後1：30～3：00

2. 場 所 大垣市立図書館

3. 出席者

(1) 策定委員10名

矢橋和江 土本 潤 今井尚子 今津佳代子 本田政子
後藤慶子 橋川 実 濱田早苗 杉野桂代子 山田文子

(2) 事務局 7名

北村武久 水上春雄 辻下道夫 北村彰夫
園部啓子 守屋明彦 近藤哲也 (欠席1名 坂 喜美和)

(3) 傍聴 1名

4. 議事録

水上館長

皆さん、こんにちは。

大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

定刻より5分ほど早いですが、皆さんお集まりいただきましたので、只今から大垣市読書活動推進計画策定委員会を始めさせていただきたいと存じます。

私は、進行を勤めさせていただきます、図書館長の水上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

【委嘱状】

ここで、一言お断りをさせていただきます。

委員の皆さんの机に委嘱状がございます。本来ですと教育長から交付させていただくところですが、時間の都合上、省略させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

【資料確認】

次に、本日の資料確認をさせていただきます。

足りないものがありませんでしたら、お教えください。

【本日の予定】

さて、本日の予定でございますが、初めに教育委員会を代表して教育委員会事務局長がご挨拶申し上げます、次に、各委員から自己紹介をいただきたいと存じます。そのあと、会議に入り、終了時刻は15時頃を予定しております。

それでは、初めに北村武久事務局長がご挨拶申し上げます。

北村事務局長

皆さん、本日は大変お忙しい中、「第1回大垣市読書活動推進計画策定委員会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

事務局を務めさせていただきますので、一言ご挨拶申し上げます。

平成21年度、市では国や県の動向を踏まえながら、教育に関する基本的な目標を示し、大垣の地域性、独自性を持たせながら、今後10年先を見据えた大垣市教育のあるべき姿と教育行政を進めるための「大垣市教育振興基本方針」を策定いたしました。

その中で図書館は、地域を支える知の拠点として位置づけ、市民の読書活動を支援し、地域の課題解決や市民生活に役立つ資料や情報を提供する役割を担う施設として、施設やサービスの充実が求められています。

また大垣市の次代を担う子どもが、豊かな心を持ち、情報を収集し活用する能力や読解力を身につけることができるように、幼児期からの読書習慣の形成と読書環境の整備を図ることが必要です。

そこで、「暮らしに役立つ市民の図書館」をめざした「図書館基本計画」と、本市の子どもの読書活動を推進する「子どもの読書活動推進計画」を含めた「大垣市読書活動推進計画」を策定するため、市民や学識経験者により「大垣市読書活動推進計画策定委員会」を設置させていただき、本日、ご出席いただきました皆さんに、策定委員をお願いするはこびとなりました。

図書館振興や子どもの読書活動の推進は、市だけで成し得るものではなく、学校、保護者、地域など、社会全体が「和」となって、取り組むことが重要だと考えております。

どうか、委員の皆さんには、教育に関するお考えや忌憚のないご意見をお聞かせいただき、本市における「読書活動推進の道筋」を確立させていきたいと存じますので、よろしくご協力をお願いし、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

水上館長

ありがとうございました。

続きまして、委員の皆さんから自己紹介をお願いいたします。

お配りをいたしております委員名簿の順に、矢橋委員から、所属とお名前をお願いいたします。

各委員

【各委員の自己紹介】

水上館長

ありがとうございました。

引き続き、事務局職員が自己紹介をさせていただきます。

事務局職員

【事務局職員の自己紹介】

水上館長	<p>それでは、ただ今から第1回大垣市読書活動推進計画策定委員会を始めさせていただきます。</p> <p>議事に入ります前に、「大垣市読書活動推進計画策定委員会設置要綱」の規定に基づき、委員長、副委員長の選出を行いたいと存じます。</p> <p>要綱では委員の互選となっておりますが、どのような方法で選出させていただいたらよろしいでしょうか。</p>
土本委員	事務局に一任してはいかがでしょうか。
水上館長	<p>只今、土本委員から「事務局に一任」との、ご発言がございましたが、皆さんご異議がございませんか？</p>
委員	異議なし。
水上館長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局案を申し上げます。</p> <p>委員長には、読書サークル協議会の会長であり、また教育振興方針の策定委員であり、推進委員もお願いしております矢橋和江委員にお願いしたいと存じます。</p> <p>また、副委員長には、現在、東海学院大学で図書館学の講師をしておられます土本潤委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
水上館長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員長には矢橋委員、副委員長には土本委員に、ご就任いただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>矢橋委員長には、設置要綱第5条第3項の規定により、会議の議長を務めていただくことになっておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
矢橋委員長	<p>矢橋でございます。私は、大垣に来まして40年以上、市や県の図書館にいろいろな形で関わってまいりました。そうした中で、読書は究極の生涯学習ではないかと思っております。</p> <p>今でいいますとブックスタートですね、赤ちゃんからはじまって、あとはこの世を終わるまで、本、図書館というものの自分の身近な地域にあって、ずっとその中で学習ができるわけです。</p> <p>そういった図書館、読書に関する推進計画策定ということですので、私もこの会が意義あるものにしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、早速ですが、議事に入りたいと存じます。</p>

北村補佐	<p>まずはじめに、策定の趣旨とスケジュール（案）について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> <p>資料に基づき説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 策定について（趣旨説明） 2. スケジュール案
矢橋委員長	<p>ただいま、事務局からご丁寧な説明がありました。</p> <p>ただ、膨大な資料ですので、一挙に頭に入らないかと思いますが、これについて、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。</p> <p>今年は、国民読書年です。国民読書年といっても、すぐに反応してくださる方は、一般市民の中には少ないのではないのでしょうか。</p> <p>図書館というのは、本当は大事なところでありながら、一般の暮らしからは少し離れている、それは、もちろん図書館は本を読むところなのですが、今、ご説明いただいたように、大切なことを図書館の方で用意してくださって、どれだけ本があって、どんな行事があっても、究極的に本を読むというのは個人です。どれだけ本を用意しても、読む気がなかったら読まないっていう難しいところがあると思います。</p> <p>ですから、今のご説明を聞いて、読書環境を整えるっていうことが課題なのかと思いました。</p> <p>そういった面でも何か、ございませんか。</p> <p>では、ありましたらまた後ほどということにして、それでは、次にお手元にお配りをしております、ほかの資料について、事務局から説明願います。</p>
北村補佐	<p>資料に基づき説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. （案）大垣市読書活動推進計画について <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> 大垣市教育振興基本方針 図書館利用に関するアンケート調査（案） 学校・学校図書館における読書活動状況調査（案） 幼稚園・幼保園・保育園における読書活動状況調査（案） 地区センター等における読書活動状況調査（案）

矢橋委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これで、ご説明いただくことはすべてでございますので、これからは、みなさんのご意見やご質問をお受けしたいと思えます。</p> <p>今日は第1回ですので、どんなことでも気がついたこと、本当に簡単なことでもよろしいので、お話していただけたらと思えます。</p>
土本委員	<p>まず、どの範囲で私たちはお話しさせていただいたらいいのでしょうか。</p> <p>たとえば、読書活動をやっていくにはハードがありますよね。今、大垣市の図書館としては十分な建物があるわけではないから、分館とか設けることが必要であるというような、ハードの問題に踏み込んでいいのか。これは予算という厳しいものがありますので、どこらへんまで、私たちが発言できるのか、そこらあたりをまず最初にお聞かせ願えるといいですね。</p>
水上館長	<p>今のところ、昨年度の基本方針の中では、地区センター、サービスセンターを拠点にしてサービス拠点を増やしていこうという案が出ております。</p> <p>また、今、同規模人口都市の図書館と比較すると蔵書冊数が少ないので、おいつかないといけません。そういった意味では、何もなければ本を置くこともできませんので、具体的にどんな規模の図書館にしていくのか、ハードの思いも含めて計画を作っていきたいと思えます。</p>
橋川委員	<p>ちょっといいですか。</p> <p>そのハード面ですが、今日、駐車場の方ですね、障害者用の駐車スペースに赤いコーンが置いてあるのです。どなたか見ればいいのですが、見えない場合は自分で車を降り、車いすを出してコーンをのけて、また車にのってと。</p> <p>それからもう1点ですね。展示ブロックを敷いてもらっているのですが、そこにバリケードがしてあって通れないようになってますね。あれはなぜですか。</p>
水上館長	<p>いま、外壁落下の恐れがあるので通行止めにしておりますが、今年中に修理しましてトラ柵をとらせていただきます。</p>
橋川委員	<p>なるほど。そういうことなら、そう書いておいていただけるといいですね。</p>
矢橋委員長	<p>駐車場には障害者スペースはどれくらいありますか。</p>
水上館長	<p>西には2台です。北駐車場は入ったところにずっとあります。</p>
矢橋委員長	<p>2台ということで、それで足りるですか。</p>
橋川委員	<p>2台ということよりも、そこにコーンがあつたら使えないですね。</p>

土本委員	あれは難しい問題で、コーンがないと一般の方が停めちゃうんですね。コーンがあると車いすの方はそれを取りに行けない。
矢橋委員長	誰かがそこにいればいいんでしょうけど、誰でも気がついた人が助けるということも大事なんじゃないかな。
後藤委員	そのほかに、どなたかありませんか。
後藤委員	地区センターは、今、指定管理になっております。それぞれの地区センターは運営委員会があり、まちづくり推進課が管理料を払ってその中で運営しています。
後藤委員	ただ、図書館の位置づけが全然ない。図書館の本は置いてあるのですが、事業内容、職務内容の位置づけが何もない。ただ置いてあるから利用したい人が来たらお願いしますよという、お願い事項ですね。
後藤委員	借りたい人が図書館に電話すれば、借りたい本をもってきてくださいますが、借りたい人がノートに書いて借りていくというだけなんです。館長としては要請も受けていなければ、まちづくり推進課からの指示もない。
後藤委員	そのへんのところから整理していかないといけない。
後藤委員	読書活動の聞き取り調査にしても把握しきれない部分があります。
後藤委員	どなたが何冊本を借り手おられるかということは図書館のほうがよくご存知ではないでしょうか。そうですね、月に4・5人ですね。同じ方が借りておられるだけです。数がたいへん少ない。
後藤委員	子どもについては、地区センターとしては白紙ですね。そういった状況の中では、まちづくり推進課とも連携していただいて、運営委員会で検討していただかないと、ただ作っただけになってしまいますので、そういった環境づくりからやらないといけないですね。
水上館長	ほとんどすべての地区センターに本が置いてあるわけですが、そのいきさつというのは、図書館からお願いしたわけではなくて、地区センターのほうから本を置いてくれないかといご要望があったわけです。それで、最初にいくつかの地区センターに置いて、その後、地区センターができるたびに、こんどは図書館からどうですかと聞いて、置くようになったわけです。
水上館長	今は、ほとんどの地区センターに「地域文庫」という名で置いて利用されています。
後藤委員	それは、大垣市の職員がおられたころですね。指定管理も5年目になったわけですが、管理する側が変わってきたわけです。
土本委員	業務内容の中に謳われていないわけですね。本当言うと、手を出すことができない

	<p>いんですよ。</p> <p>「地域文庫」というのは何冊くらい置いてあるのですか。</p>
水上館長	<p>図書館要覧の16ページを見ていただきますと、たくさんあるところもありますし、まちまちですね。それは地域の皆さんのご要望にあわせております。</p>
後藤委員	<p>たとえば子育て支援課とか成人学校などは、きちんとまちづくり支援課の方に要請をして、担当者から連絡が入っています。</p> <p>図書館もそのへんのところから、はじめていって耕していかないと推進できないのではないのでしょうか。</p>
矢橋委員長	<p>それは今後の課題ですね。</p>
水上館長	<p>今後、地区センターも含めて社会教育の中で検討していかないといけないと思います。</p>
矢橋委員長	<p>それでは、次に子どもの読書ということで、学校教育の中での本、図書館について、今津先生、いかがですか。</p>
今津委員	<p>これからいろいろ検討もされていくのかもしれませんが、アンケートの中にもありますように、これからどのように活用していくのか、考えていきたいと思います。</p>
矢橋委員長	<p>そうですね。本田先生は、幼稚園や保育園での子どもの読書についてはいかがですか。</p>
本田委員	<p>園によって違いますね。近いから図書館を訪問したり、そうでないところは園で読み聞かせをしてもらっているところもあります。市が行っている行事に参加させていただいたり、PTAにお願いしたり、いろいろな面で、各園ごとに取り組んでいます。</p>
矢橋委員長	<p>幼稚園、幼保園、保育園と3つありますが、そのあたりはどうですか。</p>
本田委員	<p>園長会はいっしょにやっていますので、そういった点では問題ないと思います。</p>
矢橋委員長	<p>今日は、県図書館から今井課長さんがお見えですが、同じ公立図書館でも県と市では違うのかもしれませんが、県下の様子もご存じでしょうし、いかがですか。</p>
今井委員	<p>子どもの読書活動推進計画は、県下ではまだ3分の1の自治体でしか策定されていませんので、図書館基本計画とあわせて、いいものができることを期待しています。</p>

目次などを見せていただいて、いろいろな計画だとか、アクションプランまで、これだけのことを1年間ではたいへんではないかなと思います。たいへん失礼なことを申し上げますが。

われわれも、去年、図書館の活動方針とか、アクションプラン、最後には評価まで作りましたが、とても大変でした。具体的なことを申し上げられなくて申し訳ないのですが。

北村補佐

ありがとうございます。

図書館というのは、市民の思いでできるわけですから、本来であれば図書館があれば、表に出ているいないにかかわらず、図書館計画というものがあるべきなのではないかと思います。

実は、こういった形で、市民の皆さんと計画を作るのは初めての経験ですが、すでに図書館内では、以前から、こういう風にしたいんだというものを作ってきた経過があります。そうしたものを皆さんに素案として提案させていただいて、公のものとして確定していきたいと思います。

われわれも、がんばりますのでよろしくお願いします。

水上館長

たくさんのご意見をいただけるようにお願いします。

矢橋委員長

これは市の教育振興方針の中で、6分野に分かれていて、その1つに図書館を取り入れていただいているのは、私はたいへん評価できることだと思います。大きく社会教育というものの中にとりこまれるのではなくて。

それは、大垣市は文教都市だと私も思ってきたのですが、アンケートをみるとそう思う人は18%ということで、文教都市であるために中身もちゃんとしていこうという市の方針だと思うんです。

ほかの社会教育よりも、図書館はもっと古くから社会教育的なことをやってきたので、それをひとつひとつ充実させていけば、本当に市民の読書の推進になるのではないかと考えています。

子どもの読書ということでは、PTAではいかがでしょうか。親子読書ということでもいいんですが。

このごろは各校の中でも読み聞かせがあるんですね。

濱田委員

私は江東小学校ですけれども、月3回、このうち2回は朝8時から8時15分まで全クラスにサークルが入って読み聞かせをしています。あとお昼休みには3カ月に1回、遊戯室をお借りしてやっています。

見て思うのですが、本の好きな子と嫌いな子がすごくはっきりしていて、好きな子は目をキラキラ輝かせて聞いてくれるんです。そうでない子は、お昼なんかでも、先生がお声かけしてくださってやっと集まるっていう感じです。

アンケートの26ページの保護者にもありますが、読み聞かせなどを聞かせてほしいという保護者さんが79%もいらっしゃって、公共図書館を身近に作るという要望も25%もありますね。

江東からだところの図書館はちょっと遠いですよね。図書館に本を借りに行くなら買っちゃおうかなという感じもありますので、地区センターの図書を充実していただくとか。

あと、本が置いてあるだけではみなさん来ないので、こんな本が入りましたよとかいう情報を発信していただくような、なにかネットワークのようなものがあると、親しまれるようになるのではないかなという気がします。

矢橋委員長

地域のきめ細かいブックステーションみたいなものが必要なのと、これは私の考えですが、そこにボランティアでもいいから、読書指導者というか、選本のアドバイスができる人が、たとえば週に1回でもいいですから、そこにいたら、特に子どもについてはいいかもしれませんね。

たしかに江東は、ちょっと遠いですね。子どもに行きなさいって言うても危ないですし、やっぱり車に乗せてこなくちゃならない。公共交通機関もそこまで充実してないですから。

子どもの読み聞かせということでは「大きな樹」の杉野さん、いかがですか。

杉野委員

私たち「大きな樹」は、30年前に矢橋さんたちのご尽力で、この図書館にコーナーを作っていただいてからやらせていただいて、特に最近たくさん買っていただいている大型絵本なども活用しながら、いろんな形で子どもたちに「こんな絵本もあるんだよ」っていう、仲介人になれたらいいなっていう思いでやっています。

また、それとは別に訪問ですね、最近は保育園や幼稚園から呼ばれて「大きな樹ですよ、図書館でやっていますよ」って、絵本を読んだり紙芝居をしながら紹介もしているんです。

最初にいつも「図書館に行ったことある」って聞くと、近くのところではほとんどの子どもの手が挙がるんですが、遠いところだと、ほんとに数人の手しか挙がなくて、ここで「大きな樹」の紹介をするのも酷かなみたいな感じ帰ってくることもあるんです。

大垣市の端々の人まで図書館に通えればいいのかもしいけど、今は車というものもありますけど、そうじゃないと地域地域に図書館の色を残す、伝えられるような可愛くて明るい分館みたいなものがあると「あそこも図書館なんだよ」みたいに紹介できると、地域の人も楽しめるかなという気がします。

あと、私たちだけでなく、ほかのグループの人たちとも、図書館で勉強したりしながらいっしょにやっているのですが、いろいろなグループの目を通して絵本を紹

介すると、また違った見方、親しみ方があると思うので、媒介として、さまざまな顔をもちながら読書推進という場にたずさわっていかないといけないなって思います。

矢橋委員長

子どもの読書っていうことになると、図書館の職員だけでなく、ボランティアやお母さんの目、広く市民といっしょになってやっていかなくてはいけないような気がいたします。だから図書館の分館、分館が難しければステーションのようなものが必要なのかもしれませんね。

後藤委員

そこでですけど、うち（西地区センター）も折り紙だとかサタデークラブだとか立ち上げていろいろやっているんですけど、そういった人たちもボランティアでやっているんですが、やっぱり元になるところが発信するなり、場を決めるなり、積極的にしないと。

何とはなしに決めたけど、何とはなしに1年過ぎちゃったということになりかねないので、そういう手順というか、そのへんところの策定もしていかないと、希望は、大きくあっても本当に子育て日本一の大垣市を担うような子どもたちを育てる読書活動推進にはならないので、そのへんところが難しいですね。

矢橋委員長

より具体的に、どういうことをしていかないといけないかっていうことですね。

後藤委員

特に地区センターは指定管理になってしまったので、特に難しいなって思います。

矢橋委員長

今日、一般公募でいらしてくださった山田さん。司書の経験もおありということで、今までの話を聞いて、またご自分の経験を通してなにかありますか。

山田委員

この資料の22ページの、もっといろんな資料がほしいというアンケート結果をみて、本当は学校図書館にも公共図書館にもたくさんあると思うんですけど、子どもたちにはどんな本があるか、いまいち伝わっていないような気がするんです。「おもしろい本がないから読まない」って言うてる子もいますから、もっと広報やPRしたらいいと思います。

学校には学校司書さんがいるので、どういうふうにしたら効果的に宣伝ができるかという手立てを具体的に考えて司書さんに伝えるっていうのもいいと思いますし、司書さんがそれができるように研修会をしたりするといいのかなって思います。

あと、市民アンケートに駐車場を無料化してほしいというのがあって、私もそれはとってもそうだと思います。せっかく図書館があっても、駐車場が有料だと気持ちの遠のく人もたくさんいると思うんです。で、もし無料化が無理なら、なぜ無理なのかということをも市民に伝えた方がいいと思います。

矢橋委員長	そのことは、いろいろなところで話題になりますね。30分以内だと駐車券がもらえるんですが、本を選ぶのは30分では難しいですね。最低、1時間はないと思います。あれがなぜ有料なんだという声は、かなり聞きますが、それをはっきりこれこれの理由で有料なんですってというようなことは、今までなかったですね。
北村事務局長	<p>できたら無料にしていればいいのですが、あれを無料にしてしまうことの問題点というのかなりありまして、不法駐車だとか。</p> <p>それと、今、有料でも満杯になって置けない状況というのがありますので、そういった対策をどうするのかっていうことも緊急の課題です。</p>
矢橋委員長	管理されているから、時間が終わると空になるわけですが、もし無料だったら、何日も放置するような人が出てくるというのも、十分考えられる。それで、今のところ30分以内だったら次回の無料駐車券がもらえるっていうことですね。
北村事務局長	何度も何度も検討しているのですが。
矢橋委員長	<p>そうですね、これは有料になって以来、いろいろな会でそういう話をしながら、現在の状態になっているということなんです。</p> <p>これも、もちろんひとつの検討事項として考えていきたいですね。</p>
水上館長	そうですね。30分よりも、少しでも長くしたいですね。
後藤委員	それは、図書館を利用する人の要望なんですか。
矢橋委員長	いえ、これは3館の駐車場ですから。
後藤委員	例えば市民病院でしたら診察を受けたらハンコをもらえば無料になるじゃないですか。受付行けば。だから図書館で本を借りたら無料にするとか。
矢橋委員長	<p>ただ、図書館だけの駐車場じゃなくて、ほかにも文化会館、学習館があるわけで、診察受けましたからといって領収書をだせるような形にはなっていないんです。</p> <p>「私はあそこに出演していたんですよ」というのを、どうやって証明するかというような問題があるんですね。</p>
水上館長	そういったこともふまえてですね、30分より長い時間にならないか、なんとか改善できないかという要望を出していますので、またあらためて、そういったご意見も集約して検討していただけたらと思います。
矢橋委員長	それでは次回からも検討しましょう。

土本委員	<p>学校図書館というのは、司書の方がみえるか、みえないかによってもものすごく利用が違うんですね。そういった点で、こちらの学校は司書教諭や司書の配置はどうなっていますか。</p>
今津委員	<p>私は司書の方も担当しております、午前中も会議があったのですが、司書の先生方は実によくやっておられます。新刊紹介や配架など、一生懸命やってくださいます。</p> <p>ただ一番難しいのは限りある時間だということですね。外でも遊ばなきゃいけない、図書館もよくしなければならぬ。これは本当に難しいことで、だから読書活動、教育活動のなかでこれをどう活かすかということだと思っただけは、授業のなかでできる場面とそうでない場面がございます。ですから、そこらへんのところで、さらに学校図書館をどうやって利用していくのかとか、あるいはPTAの方にお手伝いしていただくのかとか、そういった面でももう少し活用方法を考えていく必要があるかなと思います。</p> <p>本当にいま厳しい状況でございます。学習指導要領もかわり、本当に子どもたち遊ぶ時間とか余裕の時間とかがほとんどございませぬ。ですから、計画をどのように活かすのかということを考えていかないと。せっかく作ったものが無になってはいけません。</p>
土本委員	<p>市町村によっては学校支援センターみたいなものが図書館の中にあつて、学校図書館のほうの本の受入れだとか、物流だとか、指導だとか、そういう学校のお手伝いをするとか。そういうこともふまえていかないといけない。</p> <p>たしかに学校の先生方はお忙しいですから。子どもたちも忙しい。ですから短い時間でいい本にめぐりあえるようにしていかないと。子どもたちがいい本に巡り合えたか、そうでないかによってもものすごく人生が変わっていますのでね。</p>
矢橋委員長	<p>学校支援センターっていうのは大垣市にはあるのですか。</p>
土本委員	<p>よその県とか、市によってはあるのですが。</p>
矢橋委員長	<p>じゃ、そういったものも踏まえて検討しましょう。</p>
本田委員	<p>実は今日、県図書館の方に子どもたちを連れて行ってきたのですが、一番の問題は、借りてきた本を県図書館まで返しに行かなくてはならないのが大垣市なんです。大垣市は遠隔地じゃないんです。</p> <p>安八や養老や池田では返せるのですが。しかし、返す時には1冊1冊の署名を、いちいち書かなきゃいけない。しかも時間内にしか返せない。</p> <p>だから今日借りてきた本も、親さんたちは返しに行けないと言うので、「じゃあ</p>

	<p>私のところに持ってきてください」ということにしたのですが、見たら100冊以上ある。簡単に引き受けたのだけど。</p> <p>親さんたちも大垣の図書館にはずいぶん慣れてきて、次は大きな県図書館も思い、初めて企画しました。だけど返す時に子どもを連れて行けません。大垣市で返せたらなと思います。</p>
今井委員	<p>今のは遠隔地返却サービスだと思うのですが、大垣市は対象館になっておりません。</p>
水上館長	<p>コンピュータで簡単に処理できればいいのですが、返却される方に1冊1冊書いていただかなくてはならないし、また、これがどれくらいの返却数になるのかわからないですね。大垣から県へはたくさん借りに行ってみえるのですが、土曜、日曜の一番混むときに返却に来られると、どういう状況になるのかなというのが一番心配です。</p> <p>その中でまた「延滞本は返却できませんよ」ということですが、そのチェックもしなければならぬとなると、また事務が増えるので、躊躇しているところです。</p>
今井委員	<p>地元の図書館のご協力を得てやっているサービスで、たしかに手間がずいぶん増えますね。</p>
水上館長	<p>かなりの手間がかかると思います。いま、大垣の図書館も利用が多くなっている中で、さらに県図書館の本をどれくらいの人が返却されるのか。みなさん、同じ時間に集中するでしょうし。</p>
矢橋委員長	<p>時間も迫ってまいりました。3時までということになっているのですが、ここのところはどうしてもと思われることをお聞きしたいと思うのですが。</p> <p>また、今日のいろいろなお話をお伺いして、それから資料もご覧になって。また次回もありますが、どうしても今日、この部分をという方はおられますか。</p>
土本委員	<p>ひとつだけ。10年先と言いますと、ITの問題はかかせないと思うんです。</p> <p>ipadとか、一度、簡単な資料でいいんですけど、つけていただけますといいかなと思います。</p> <p>坂下町は実験的に置いています。10年先ということになりますと、そこらへんも検討する必要はあるかなと思います。</p>
水上館長	<p>以前からCDだとか電子ブックというものへのご要望やお問い合わせもありますので、検討したいですね。</p>
北村補佐	<p>先ほどの説明の時に計画の期間について触れませんでしたでしたが、教育振興基本方針は10年先を見越していますが、こちらの個別計画は5年を計画期間とさせていた</p>

	<p>だきたいと思います。つまり、対象期間は、今年、平成22年度から26年度というところでお願いします。</p>
<p>矢橋委員長</p>	<p>それでは皆さんのご意見も出終わったということで、審議は一応ここで終了させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。皆さんの読書、図書館への思いをたくさん聞かせていただきまして、ありがとうございました。</p> <p>では、ここで事務局の方にお返ししますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>水上館長</p>	<p>皆さん、貴重なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。皆さんの読書に関する熱い思いをたくさん聞かせていただきまして。本当にありがとうございました。</p> <p>そこで、次回の開催ですが、スケジュールでは8月6日で提案させていただいておりますが、後日、調整させていただきますので、この日を目標とさせていただきます。また、アンケートなども含めて早めに皆さんにお届けさせていただきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、これもちまして、「第1回大垣市読書活動推進計画策定委員会」を終了いたします。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p>

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

大垣市読書活動推進計画策定委員会委員長 _____